

第四十九回 帝國議會 貴族院議事速記録第三號

大正十二年七月二日(水曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第三號 大正十三年七月二日

午前十時開議

第一 非常徵發令廢止ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案(政府提出)

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

昨一日常任委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

請願委員會

委員長 伯爵勸修寺經雄君

副委員長 倉知鐵吉君

同日請願委員會ニ於テ決定シタル分科及分科擔當委員ノ氏名左ノ如シ

第一分科(大藏省、農商務省)

伯爵勸修寺經雄君

子爵本多忠鋒君

子爵秋田重季君

玉利喜造君

男爵北大路實信君

男爵岩佐新君

大谷嘉兵衛君

山田敏君

津村紀陵君

岡本榮吉君

二階堂三郎左衛門君

第二分科(外務省、內務省、文部省)

子爵大河内輝耕君

子爵白川資長君

子爵清岡長言君

子爵伊東二郎九君

北條時敬君

佐藤三吉君

渡邊廉吉君

若林資藏君

男爵大島富士太郎君

倉知鐵吉君

橋本辰二郎君

小林八右衛門君

第三分科(內閣、司法省、逓信省)

侯爵中御門經恭君 侯爵久我常通君 子爵五條爲功君
子爵戸澤正己君 子爵蒔田廣城君 寺田榮君
男爵德川厚君 男爵調所恒徳君 岡田文次君
齋藤善八君 近岡理三郎君

第四分科(陸軍省、海軍省、鐵道省)

伯爵酒井忠正君 子爵柳生俊久君 子爵渡邊七郎君
男爵若王子文健君 男爵島津長丸君 男爵神山郡昭君
男爵高木喜寛君 高橋源次郎君 溝手保太郎君
富永猿雄君 櫻井伊兵衛君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付キ御諮リヲ致シマス、外松男爵病氣ニ付キ會期中ノ請暇デゴザイマス、許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 昨日ニ引續キマシテ、國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ許シマス、湯地君ハ昨日ノ續キヲナサレル御希望デゴザイマスカ

○湯地幸平君 左様デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

〔湯地幸平君演壇ニ登ル〕

○湯地幸平君 私ノ質問ニ對シマシテ、昨日總理大臣ノ御答辯ヲ承ハリマシタガ、極ク低聲ニシテ聽取レナイ所ガゴザイマシタ、依ッテ本會議ニ於キマシテハ其聽取レタダケノ點ニ付テ質問ヲ致シマシテ、アトハ豫算總會ニ於テ更ニ伺フ場合ガアラウト思ヒマス、昨日ノ御答辯デ總理大臣ハ護憲三派ト云フ事柄ハ嘗テ言ッタコトハナイ、斯ウ云フコトデゴザイマス、是ハ新聞雜誌ガ勝手ニ付ケタ名前デアルト云フコトデシタ、私ハ此事ヲ伺ヒマシテ、非常ナ又政治上ノ知識ヲ得ルト同時ニ驚キマシタ、全ク新聞雜誌ニ私ハ騙サレテ居ッタ、恐ラク六千萬國民モ此美名ノ下ニ今日マデ騙サレテ居ッタト思ヒマス、併シ護憲三派ト云フ事柄ヲ御認メニナラナイノニ、主義政見ノ違ッタ高橋及犬養兩政黨ノ首領ヲ殊更ニ入閣サセラレタノハ、ドウ云フ譯デアリマスルカ、總理

大臣ノ御統率ニナッテ居ル政黨ニハ立派ナ人達ガ澤山居ラレルニモ拘ラズ、特ニ主義政見、數年ノ間、違ッテ居ッテ所ノ政黨ノ首領ニ向ッテ入閣セラレタノハ、ドウ云フ御方針アルカ、私ハ是ハ全ク護憲三派ノ關係デ入閣セラレタモノト思ッテ居リマシタガ、護憲三派ト云フコトハ認メナイト云フ御答デアリマスルト、更ニソコニ疑ガ起リマス、之ヲ一ツ御尋ネ致シタイ、其次ニハ昨日ノ答辯ニ私ハ三派ノ異ッテ主義政見ハ讓合ヒカ、追隨カ、承ハリタイト申シマシタラ、讓リ合ヒデモ追隨デモナイ、皆三派ハ主義政見ハ棄テナイ、而シテ圓滿ニ一致シテ居ルト云フ御答辯デアリマシタ、主義政見ノ違ッタモノガ政治上ニ於テ圓滿ニ一致スルト云フ事柄ハドウモ普通ノ人間ノ頭デハ判斷ガ出來マセヌ、之ニ付テ承ハリタイ、此二點ニ付テ承ハリタイノデス、尙ホ昨日總理大臣ハ綱紀肅正ハ聲ヲ大ニシタノデハナイ、極ク細イ低聲デ言ッタト云フ揚足ヲ御取リニナリマシタガ、私ノ聲ノ大キイト云フノハ、必シモ其聲ノ大小自身ヲ言ッタノデハアリマセヌ、綱紀肅正ヲ天下ニ向ッテ大聲疾呼サレタ點デアリマス、是ハ私ノ揚足ヲ取ラレタノデアリマス、揚足政治ヲオヤリニナル御考デナイカト思フ、尙ホ昨日ノ御答辯ハ甚ダ誠意ヲ缺クモノト思ヒマス、モウ少シ誠意アル御答辯ヲ願ヒタイ、是ダケデアリマス

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 唯今、湯地幸平君ヨリ再度ノ御質問デアリマシタ、私ノ聲ガ小サイノデ、聽エナカッタト云フ御話デアリマシタカラ、成ルタケ大キナ聲ヲ致シマス、護憲三派ト云フコトヲ認メナイト云フコトヲ申シマシタヤウニ御話ガアリマシタガ、サウ云フ言葉ハ私ハ用ヒマセヌ、護憲三派ト云フ名前ハ私ハ言ッタコトハナイト云フデアリマス、護憲ト云フコトハ惡イコトデモ何デモナイ、即チ憲法擁護、憲政擁護ト云フ趣意デアリマスカラ、其趣意ニ於テ私ハ固ヨリ異論ノナイコトデアアル、唯護憲三派ト云フコトヲ私ハ演說等ニ於テ用ヒナイト云フコトヲ御話シタダケデアアル、次ニ目的ヲ同ジウシテ、三派トモ働イテ居ルノデアリマスカラ、其實ハ決シテ否定イタシマセヌ、ソレカラ主義政見ノ違ッタモノガ内閣ヲ組織シタノハ、ドウ云フ譯カト云フ御尋デアリマスガ、主義政策ハ三ツノ大イナル綱目ヲ擧ゲマシテ、内閣組織ニ際シテ外ノ派トモ相談シタノデアリマス、新聞紙上デ或ハ御承知カ知レマセヌガ、即チ綱紀ノ肅正、行政出政ノ根本の整理緊縮、普通選舉ノ執行、此主義ニ於テ能ク合致シタノデアリマス、其他ニ於キマシテハ内閣

組織前ニハ詳シイコトハ、一々細カイコトマデ相談シテ居リマセヌガ、段々相談シテ居リマス、是ハ一黨一派ノ中デモ銘々ノ考ハ多少違ッテ、議論ヲ闘ハシタ末ニ相當ノ結論ニ達スルモノデアルト云フコトハ、是ハ實際ニアルコトデアリマス、内閣組織ノ際ニ當ッテ細カイコトマデ一々相談シナクテモ大體ニ付キ意見ガ合ヘバ、外ノコトハ、自ラ解決ガ出來ルト云フコトハ、私ハ確信シタノデアリマシテ、又此内閣ニ這入ラレタ他ノ諸公モ同シク其趣意ヲ以テ入閣ヲ内諾セラレタ次第デアリマス、ソレカラ綱紀肅正ヲ大キナ聲デ叫ブ云々、大キナ聲ト云フコトヲ盛ニ昨日仰セニナリマシタカラ、別段ニ大キナ聲ト云フモノノ、普通ノ聲デ申シタト申スノデ、併ナガラ聲ノ大小ニ拘ラズ最モ熱心ニ之ヲ唱ヘタト云フコトハ其通りデアリマスカラ御承知ヲ願ヒタイ

一應伺ッテ置キマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今阪谷男爵ノ御質問ニナリマスカラ事件ノ生ジマシタコトハ洵ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、今其實事ノ概略ヲ申上ゲマス、事柄ノ起リマシタノハ昨日午後零時三十分頃デアッタノデアリマス、場所ハ赤坂ノ米國大使館ノ燒跡ノ中ニ起ッタノデアリマス、其事件ノ模様ハ大使館ハ此度ノ地震火災ノ爲ニ建物ガ燒ケマシタノデ、目下ハ帝國「ホテル」内ニ移轉シテ居ラレルノデアリマスガ、燒跡ニハ數十棟ノ天幕張ガアリマスカラ、其處ニハ罹災民ガ住ッテ居ルノデアリマス、大使館關係ノ罹災民ガ居住シテ居ルノデアリマス、牆壁モイタク崩レテ居ルヤウナ所ガアリマシテ、外部カラハ自由ニ出入セラレルヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアリマスガ、其構内ニハ是迄通り高サ約六間ノ木ノ柱ノ上ニ米國ノ國旗ガ掲ゲテアッタノデアリマス、犯人ガ何時頃何處カラ入りマシタカト云フコトハ不明デアリマスガ、丁度唯今申上ゲタ午後零時三十分頃ニ突然現ハレマシテ國旗ヲ取下シテ之ヲ抱ヘテ土手構ヘヨ踏越ヘテ前面ノ街路ニ出テ行キマシテ田町方面ニ遁レテ行ッタノデアリマス、是ヨリ先キ豫テ同所警戒ノ爲ニ配置シテアリマス十數名ノ警察官ガ正門ノ前ニ……警察官ノ中デ正門前ニ居リマシタ數名ノ者ガ其狀況ヲ見マシタノデ、其中ノ一人ガ直グ追跡イタシタノデアリマスガ、巧ニ人家ノ露

路ヲ拔ケテ溜池町ニ番地先ノ所マデ行ッテ踪跡ヲ晦マシタト云フヤウナ事實ニ相成ッテ居ルノデアリマス、其後犯罪ノ搜查ニ從事イタシマシテ、目下ノ所デハ略ハ犯人 見込モ付イテ居リマスガ、唯本人ガ唯今居ル所ヲ晦マシテ居ルノデアリマスノデ、折角之ヲ突止メルコトニ從事ヲ致シテ居リマス、遠カラズ逮捕ニ至ルコトト考ヘルノデアリマス、亞米利加ニ於テ新シキ移民法ガ制定セラレテ、其移民法ノ中ニ日本ニ對スル差別ノ取扱ヲスルヤウナ條項ノアリマス爲ニ、日本國民ガ今日ハ頗ル興奮シテ居ルト云フコトハ、事實デアリマス、其不滿ノ意志ヲ表示スルコトニ付キ、適法ニ之ヲ表示スルコトニ付テハ政府ハ固ヨリ之ニ干渉スル意志ハアリマセヌ、併シ過日帝國「ホテル」内ニ起リマシタ出來事ノ如キハ、之ハ實ニ擯斥スヘキ事柄デアリマスノデ、斯様な事柄若クハ類似シタ事柄ガ起ッテハ相成ラヌト考ヘマシテ、現内閣ガ出來マスト直チニ地方官ニ一般ニ其事ヲ申述ベテ、斯ノ如キ似寄ッタ事柄ノ生ゼナイヤウニ一般ヲ戒シメナケレバナラヌ、ソレト共ニ斯様な事ノ起ッテハナラナイカラ、取締ニ付テハ十分ニ之ヲ致セト云フコトガ訓令シテアルノデアリマス、昨日ハ恰モ米國ノ新シイ移民法ガ實施セラルル初日ニ當ッテ居タノデアリマスカラ、方々ニ演說會等モアリマスノデ、或ハ間違ッタコトデモ起ッテハナラヌトシテ警戒ノコトニ付テハ特ニ注意ヲ致シテ、警官ノ配置等モ致サセタノデアリマス、其結果、米國大使館ノ燒跡ニモ唯今申上ゲル通り十數名ノ警官ヲ配置シテアッタノデアリマスガ、其間ニ於テ斯様な出來事ノ起リマシタコトハ洵ニ遺憾ニ存ジマスガ、事實ハ左様な次第デアリマスカラ、此段ヲ申上ゲテ置キマス

○男爵阪谷芳郎君 本件ニ付テ外務大臣ハ如何ナル措置ヲ御執リニナリマシタカ

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣 男爵幣原喜重郎君 唯今阪谷男爵ノ御質問ニ御答ヘ申シマス、此事件ガ發生イタシマス直グ亞米利加代理大使ヨリ私ニ會見ヲ申込シテ參リマシタ、四時過ニ私ハ亞米利加ノ代理大使ト會見イタシタノデアリマスガ、亞米利加ノ代理大使ハ唯新事件ノ發生ニ付キマシテ私ノ注意ヲ喚起シタニ止マリマシテ、何等交渉トカ談判トカ云フ筋合デハアリマセヌデシタ、私ハ事件ノ成行ガ其當時マデ現ハレテ居ルコトデ私ノ知ッテ居ルコトダケハ述ベマシテ、斯ノ如キ行爲ハ日本國民ノ意志ヲ表明シタモノデハナイト私ハ固ク信

ジマシテ、一應ノ遺憾ノ意ヲ私ハ表シテ置イタノデアリマス、其後追々事實ガ確マリマシテ、先刻、内務大臣ヨリ御答辯ノアッタヤウナ事實ガ分ッテ來タモノデアリマスカラ、夕方ニナリマシテ……七時頃ニナリマシテ、更ニ米國大使館ヲ訪問イタシマシテ米國代理大使ニ面會イタシマシテ、更ニ政府ノ深厚ナル遺憾ノ意ヲ傳ヘマシテ、此遺憾ノ意ハ米國代理大使ニ米國政府ニ傳達セラレムコトヲ望ムト云フ趣意ハ申シテ置キマシタ、私ガ關係イタシマシタ事實ハソレダケデゴザイマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ昨日ノ總理大臣竝ニ外務大臣ノ施政、竝ニ外交ニ關スル御演說ニ付キマシテ質問ヲ致シマス、其前ニ唯今政府ヨリ御説明ニナリマシタ事件ハ如何ニモ残念ナコトデアリマシテ、最モ忌ムベク最モ是ハ排斥シナケレバナラヌ事件デアッテ、今後ト雖モ此日米關係ガ段々深厚ヲ加ヘマスニ付テハ、國民ハ一般ニ輕舉妄動ハ慎シマナケレバナラヌコト思フノデアリマス、斯カル事件ハ我々ノ相當ナル主張ヲ幾分カブツ割引セラレルノデ、即チ世界ニ對シテ同情ハソレダケツ減退スルコトニナル、是ハ甚ダ殘念ナコトト考ヘルノデアリマス、尙ホ政府ニ於テハ斯カルコトノ再發セヌヤウニ御注意ヲ願フ次第デアリマス、昨日ノ外務大臣ノ日米問題ニ付テノ御所見ハ伺ヒマシタ、段々御考ノアル所ハ承知イタシマシタノデアリマスルガ、將來ドウスルト云フコトニ付テノコトハ餘リ御述べニナラナイ、是ハ將來ノコト、又政策ニ屬スルコトハソレハ言フコトハ出來ヌト云フヤウナ意味デアッタト考ヘマスルデスカ、ソレニ付キマシテ私共ノ心配イタシマスノハ、外務大臣ノ、此問題ニ付テ日本國民ガ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ、其觀察ガ誤ッテ居リハセヌカ、日米ノ國交ト云フモノガ今日七十年來ノ親交ヲ保ッタ、今日モ尙ホ其通りデアアル、將來モ尙ホ其通りデアアラネバナラヌト云フコトハ論ヲ俟チマセヌ、日米ノ間ノ戰爭ト云フコトハ夢ニモ思フコトハ出來ヌ程ノ是ハ大切ノ問題デアアル、併シ國交ノ親善ト云フコトハ、國民ノ心ノ中ニ苟モ不愉快ノ念ガアッテハナラナイ、而シテ其不愉快ノ念ハ雙方カラ互ニ起サシメヌヤウニシ、又起ッタ場合ニハ其不愉快ノ念ヲ取去ルヤウニシナケレバナラナイ、現在ニ於テ日本國民ガ此米國ノ移民問題ニ付テドウ考ヘテ居ルカト云フコトガ或ハ米國ノ方ニ十分ニ通ジテ居ラスノデハナイカ、或ハ外務大臣自ラドレ程ニ日本人ガ不愉快ニ考ヘテ居ルカト云フ其程度ヲ誤ッテ居ルノデハナイカ、ソコガ本

員ノ大イニ伺ヒタイノデアリマス、抑、今日ノ問題ヲ惹起ス以前ニ於テ加州移民問題ニ付テノ事柄ト云フモノハ昨日外務大臣ノ御述ベニナリマシタ通り長イ問題デアッテ、遂ニ今日ノ事ガアリハセヌカト云フコトハ識者ノ久シク憂ヒテ居ッタ問題デアッテ、民間有志ノ士カラハ屢々政府ニ其事ニ付テハ忠言ヲ與ヘ又日米兩國ノ有力ナル人々ノ間ニモ、ソレガ爲ニ屢々交渉ガアッテ、彼カラモ有力ナル人ガ參ッテ、我カラモ有力ナル人ガ行ッテ、此コトニ付テ始終事茲ニ至ラザルヤウ努メ來ッタノデアアル、然ルニ既ニ事茲ニ至ッタニ付テハ、其責任ハドウモ政府當局ニアラネバナラス、政府當局ガ今日マデノ處置ノ仕方ノ上ニ付テハ日本國民ノ主張、又日本國民ノ感情ト云フモノヲ十分ニ米國政府ニ御傳ヘニナルコトガ不十分デアッタノデハナイカ、米國政府ハ甚ダ簡單ニ考ヘテ居ラレルヤウデアアル、移民問題ハ米國ノ當然ノ主權デアアル、ソレハ日本デモ同様デ米國ハ嘗テ此主權ノコトニ付テ一步モ讓ッタコトハナイ、機會ノアル毎ニ其事ハ言明シテ居ルト云フヤウナ譯デ、日本ノ主張ノ要點タル差別的待遇ハ今日不都合デアアル、又日本國民ト云フモノハ決シテ第二流ノ國民トシテ甘ンズルモノデナイト云フ、此ノ日本國民ノ即チ深キ考、是ガ十分ニ徹底シテ居ラスノデハナイカ、デ加州ノ問題ニ付キマシテモ、今日マデ政府當局ノナサレタコトハ一步々皆後ヘ後ト下ガッテ居ルヤウニ見エル、學童問題、寫眞結婚問題、遂ニ土地法ニ依ッテ今日現ニ「カルフォルニア」ニ居ル所ノ日本國民ト云フモノハ殆ド其生活ノ途ヲ失ハムトシテ居ルト云フマデ至ッタノデアアル、此土地法ノ問題ノ解決ノ著カザルニ、更ニ進ンデ今日ノ此移民法ニ付テ日本國民ヲ排斥スルト云フヤウナコトヲ中央政府ノ議會ガ敢テスルニ至ッタノデアアル、加之、又此ノ後ニ憲法ヲ改正シテ……憲法ヲ改正シテ、モウ米國ニ生レテ居ル日本人ノ國籍ヲモ奪フ、斯ウ云フ法律ガ現ニ米國ノ議會ニハ出テ居ルノデアアル、ソレ故ニ私ハ今年一月二十三日ニ此演壇ノ上ニ於テ詳シク日米關係ヲ論ジテ、此問題ハ決シテ容易ナラス所ノ問題デアアル、此問題ノ解決ヲ苟モ誤ルナラバ、實ニ此日米間ニ不幸ナル關係ヲ惹起シハシナイカ、否、日米間ノミデハナイ、即チ亞細亞ト亞米利加ト云フヤウナ世界平和ノ上ニ重大ナル關係ヲ惹起ス問題ニナリハシナイカ、デ此事ニ付テハ十分ニ政府ガ能ク日本國民ノ意思ノアル所ヲ徹底スルヤウニ努メラレナケレバナラスト云フコトヲ述ベテ、當局ノ外務大臣カラモ御答ヲ得タノデアアル、然ルニ遂ニ今日ノ結果ヲ見ルニ至ッタ、甚ダ過去ッタコトデハアリマスケレドモ、既往ニ

於ケル外務當局ノ爲サレ方ガ如何ニモ我々ハ不満足ニ感ゼザルヲ得ヌノデアアル、現大臣ハ御就任以前ノ事ニ付テハ或ハ責任ハ無イ、外務省ノ御方デアアルケレドモ、無イノデアアルガ、併ナガラ何トカ今少シク外務當局ニ於テ努メラレタナラバ、事今日ニ至ラズシテ止ンダモノデハナイカ、從テ將來ノ處置ヲ此上復タ誤ッテ貰ッテハナラスト云フ觀念ガ我々ニ強イト云フコトハ已ムヲ得ヌ、外務大臣ハ昨日十分ニ抗議ヲ致シマス、抗議ヲシテ聴カナカタラドウナルノカ、是非抗議ヲ聴イテ貰ヒタイト云フコトニ付テノ御考ガマダ十分デナイ、又現在ニ於テ日本國民ノ心ノ中ニ如何ナル不愉快ノ念ガアル、日本國民ガ非常ナル節制ヲ致シテ居ルト云フコトハ、外務大臣ガ御承知デアラウト思フ、其節制ト云フコトモ段々色々ナルコトガ重ナルト云フト破レル、即チ昨日モ米國大使館ノ旗ヲ奪ッタト云フコトハ實ニ忌ムベキ、排斥スベキ事柄デアルケレドモ、畢竟スルニ國民ノ憤懣、六千萬人中ニハ色々ナ間違ッタコトヲスル人ガ出テ來ルコトニナル、ソレハ日本バカリデハナイ、米國ノ方ニモ亦ソレニ對シテ日本人ヲ壓迫スル、迫害スルト云フヤウナコトガ起ル、到頭サウ云フコトカラシテ日米兩國七十年ノ此ノ親善ナル日米兩國……又如何ニ考ヘテモ此日米兩國ト云フモノガ互ニ干戈ヲ持ッテ立ッテ云フコトハ想像シ得ラレナイコトデアリマス、夢ニモ想像シ得ラレナイ、其親善ナル關係ニモ多少疵ヲ付ケルヤウニナリハシナイカ、茲ガ外務大臣トシテ私ハドウモ如何ナル不愉快ナル觀念ガ日米國民ノ腹ノ中ニ伏在シ、又ソレガ増長シツツアルカト云フコトノ外務大臣ノ御覽ニナリ方ガ間違ッテ居リハシナイカ、從テソレヲ能ク米國ノ方ニ御傳ヘニナル手段方法ガ盡サヌノデハナイカ、唯書面ノ上デ互ニ……私ガ見ルト云フト外務省ノ抗議、米國ノ答辯ト云フモノハドウナルノカ、唯互ニ文書ヲ交換シテ居ル内ニ、段々段々兩國ノ間ニ不滿ノ情ガ増長シテ行キ、愈々之ヲ無事ニ治メルト云フコトハムズカシクナリハシナイカ、甚ダ心配デ、今日ニ於テ日米間ノ親善ト云フコトニ寸毫デモ疵ノ付クト云フコトハ人類ノ文明、又歐洲大戰ノアツタ後ノ今日ノ世界、一日モ早ク世界人類ノ幸福ヲ増進シナケレバナラナイ急務ノアル今日ニ於テ、最モ忌ムベキコトデ、避ケナケレバナラスコトデアアル、ソレニ疵ガ付キハシナイカ、ソレヲ即チ私ハ憂ヘルノデアリマス、從テ單ニ抗議ニ止マラズ、何等カ其間ニ於テ執ルベキ途ガナイモノデアリマセウカ、是ハ私ハ寔ニ見易イ道理デアルト思フ、昨日本院ニ於テ決議案ヲ通過イタシマシタノモ、畢竟スルニ、ソレハ

極メテ重大ナル考ヲ以テ本院ハ全會一致之ヲ通過シタノデアツテ、本院ノ決議案ハ外務大臣ニ於テ能ク其文字ノ裏面マデモ徹底シテ、能ク御熟讀ヲ願ヒタイノデアリマス、デ唯、物ヲ成行ニ任シテ、段々火ニ油ヲ注グヤウニナツテ行ツタナラバ、甚ダ心配スベキ結果ニナリハシナイカ、其間ニ何カ執ルベキ途ハナイカト云フコトヲ第二ニ私ハ御聽キシタイ、第一ハ外務大臣ガ日本國民ノ如何ニ憤慨シテ居ルカト云フコトヲ見ルコトガ誤ッテ居リハシナイカ、第二ハ單ニ抗議ニ止メズ、何等カ今少シク兩國ノ間ニ此ノ問題ヲ解決シ、近ヅカセル手段トシテ方法ハナイデアラウカ、是マデノ世界ノ歴史ノ上ニ考ヘマシテモ、單ニ成行ニ委セズシテ、其間ニ於テ執ルベキ所ノ手段ヲ執ッテ、物ノ解決ノ付イタコトヲ見ルヤウニ思ヒマス、加之、此日米ノ問題ト云フモノハ、昨日ノ決議ノ會議ニ於テ、ドナタカモ御述ベニナリマシタヤウニ、移民法ノ中ノ「歸化シ得ザル」云々ト云フ條項ヲ除イタナラバ日本國民ハ満足スルノデアアル、サウスレバ日本全國カラ米國ニ這入ッテ行ク移民ハ年々百四十六人ニナル、サウスルト百四十六人ト云フモノヲ入レルカ入レヌカト云フ問題デアアルカラ、米國ノ方デ爭フ必要モナク、又日本ノ方ニ於テモ爭フ必要ナイ今日問題ニナツテ居ルヤウデアアル、斯ノ如クモウ事實ノ方ハ解決ノ緒ニ就イテ居ル、ソレニ唯形式ノ上ニ於テ日本ニ對シテ甚ダ日本國民ヲ不滿ナラシメ、不愉快ノ心ヲ起サシムルト云フ必要ハ何處ニアル、米國大統領ノ聲明書ノ中ニモ不必要ニシテ悲シムベキ立法デアルト云フヤウナコトガ、タシカアッタカト思ヒマスガ、實ニ不必要ニシテ悲シムベキ事柄デアアル、ソレ位ノ事ノ分ラヌコトハナイト思フ、之ヲ何等カ、唯抗議ノ往復ヲ重スルバカリデナシニ、其方ニ於テ今少シク執ルベキ途ガアリサウナモノデアアル、即チ兩國ノ人ヲ相接近セシメテ、サウシテ話ノ解決ノ接近スルヤウナ手段ガアリサウナモノデアアルガ、ソレハ無イノデアアルカ、ソレハ御考ナイノデアアルカト云フノ第二ニ伺ヒタイ、デアリマス、ソレカラ次ニ伺ッテ置キタイノハ、假リニ紳士協約ト云フモノハ茲デ廢棄セラレテ仕舞ッタモノデアアル、斯クナルノデアリマスルガ、紳士協約ガ廢棄セラレテ仕舞ッタトスレバ中央亞米利加、若クハ南米ニ對シテ日本ガ移民ヲ送ル上ニ付テ何等米國ニ對シテ此遠慮スベキ事柄ハ全然無イ、是モ當然ノコトト思ヒマス、當然ナ日本ノ是ハ權利デアリマスルガ、併ナガラ今日マデノ政府ノヤリ方デアルト多少中央亞米利加ナリ、或ハ南米ナリニ移民ヲ送ルコトニ付テ兎角制限セラレテ居ルヤウデアアル、既ニ北米ニ日本

ノ移民ガ行カヌト云フコトニナレバ日本移民ノ行クベキ天地ト云フモノハ甚ダ狹メラレタ譯デアアル、然ラバ中央亞米利加ナリ、南米ナリニハ何等遠慮ナシニ行ッテ差支ナイコトト思フ、デ之ニ付テハドウ云フ事柄ニナツテ居リマスカ、日本ノ將來ノ移民問題ノ上ニ付テ大事ナコトト思フノデアリマス、ソレデ次ニ伺ッテ置キタイノハ此問題ハ、移民問題ハドウシテモ圓滿ニ平和的ニ解決ヲ告ゲナケレバナラヌト云フコトハ論ヲ俟タヌ、ソレニ付キマシテハ今日マデ屢、議論ノアル日本ノ二重國籍法、二重國籍法ト云フモノノ改正ハ政府ニ於テドウナサルカ、又日本ガ「カリフォルニア」ニ於テ土地法ノコトヲ不公平ナリト非難スルト同時ニ、日本ノ土地所有權ノコトヲ外國人ハマダ十分ニ其權利ノ享有ガ出來ナイト云フ苦情ガアルノデアリマス、此二重國籍法ト云フコトモ、日本ニ於ケル土地所有法ノコトモ私ハ細カニ研究シテ必シモ米國ノ人が心配スルガ如キコトニナツテ居ラヌノデアリマスケレドモ、併ナガラ斯ウ云フ問題ノアル際ニ更ニ此問題ト云フモノヲ日本ニ有利ニ又米國ノ爲ニモ満足ニ解決シナケレバナラヌ、此問題ノ場合ニ於テハ日本ニ於テナサレテ差支ナイコト、即チ米國ノ人ガ是マデ異議ヲ唱ヘタコトデ而シテ日本ガソレニ應ジテ差支ナイコトハズン、ナサツタラ宜イ、ヂヤナイカ、他人ニ向ッテ主張スル場合ニハ先ヅ自分ノ方ノ故障アルコトハズン、讓ッテ差支ナイコトト思フガ、此二重國籍法ナリ、又日本ノ土地所有法ナリニ付テノ政府ノ御考ハドウデアアルカ、其外、此移民ノコトニ付テ日本トシテ執ルベキ公平ナ途ハズン、御執リニナルト云フ御考デアラウカ、其事モ茲ニ併セテ伺ヒタイ、昨日ノ外務大臣ノ外交演說ハ從來ノ外務大臣ノ演說ヨリモ餘程進シダ御話デアッタト云フコトハ本員ハ認メマス、併シ問題ハ最早段々具體化シテ居ルノデアリマスカラ、今本員ノ御尋ネシタ諸點ニ付テ十分ナル御辯明ガアリマシタナラバ、此問題ヲ將來解決スル上ニ付テ色々國民間ノ誤解モ解ケ不必要ニ憤慨セシメルコトモ無クナルデアラウト考ヘマスルノデ、此點ニ付テ伺ヒマス、昨日ノ首相竝ニ外相ノ御演說ハ色々ノ問題ニ觸レテ居リマスノデ本員ノ問題モ數ガ少シク多クナリマスデ、演壇ヲ下リタリ上ツタリスルコトハ甚ダ本員モ困リマスカラ、續イテ他ノ問題ニ移リマス、總理大臣ノ昨日ノ御演說ノ中ニ貴族院ノ改革ハ云々、之ニ善處スルト云フ御言葉ガアリマシタ、今日マデ貴族院ノ院令改正、或ハ選舉規則ノ改正ト云フヤウナコトニ付キマシテ段々考ヲ有スル人がアリ、又考ヲ有スル會派ガアリマシテ、之ヲ研究シテ居ルト云フコトハ、本員

モ承知イタシテ居リマス、併シ御承知ノ如ク貴族院改革ト云フ問題ニナリマスルト事重大デアリマスルデ、本員ハ此演壇ニ於テ此事ヲ申スノハ今日マデ慎ンデ居リマシタガ、總理ガ大切ナル施政ノ方針ノ上ニ於テ貴族院改革ト云フコトヲ言ハレタ以上ハ是亦將來ニ誤解ナカラシムル爲ニ、能ク御尋ネシテ置カナケレバナラス、近來色々世ノ中ノ思想其他ノコトガ始終變テ參ツタニ付キマシテ、兎角國ノ根本法ニ觸レタコトモ輕々ニ論ズル癖ガアルト本員ハ考ヘル、併ナガラ本員ト致シマシテハ、是ガ白紙ノ場合ノ上ニ於テ論ズルナラバ幾ラモ論ジャウガアツテ又一向差支ナイコトデアアル、又學者ガ學校ニ於テソレヲ研究スル、又貴族院ノ會派ノ人ガ各會派ニ於テ之ヲ私ニ研究シテ見ルト云フコトハ差支ナイ、併ナガラ是ハ容易ニ言フベキコトデナイト思ヒマスノハ、衆議院竝ニ貴族院ト云フモノハ帝國憲法ノ骨子デアアル、此衆議院竝ニ貴族院ヲ苟モ改革セネバナラスト云フコトニナレバ憲法ニ觸レナケレバ是ハ出來ナイ、是ハ申スマデモナク「帝國議會ハ貴族院衆議院ノ兩院ヲ以テ成立ス」貴族院ハ貴族院令ノ定ムル所ニ依リ皇族華族及勅任セラレタル議員ヲ以テ組織ス」チャント此兩院ノ組織權限ト云フモノハ憲法デ極マツテ居リマス、而シテ憲法ノ制度ノ詔勅ヲ見ルト、此不磨ノ大典、此不磨ノ大典ニ付テ紛更ヲ許サス、此改正ノ必要ガアル時分ニハ勅命ヲ以テ議案ガ提出セラレ、其時分ニハ又之ヲ可否スルノ出席數、議決數ト云フモノモ極メテ特別ナ扱ニナツテ居ルノミナラズ、攝政ヲ置クノ間ハ憲法皇室典範ハ改正セヌ、斯ウ云フコトガアルノデアリマス、デ是ハ國ノ根本法ト云フモノヲ勝手ニコノ人ガ論議スルト云フコトニナツテ來タナラバ、甚ダ憂フベキ事態ヲ起スデアラウト思フノデアリマス、ソレデ昨日ノ總理ノ貴族院ノ改革ト云フコトハ、多分ソレ等ノ憲法ニ於テ定マツテ居ル事柄ニハ觸レヌコトデアラウト思ヒマスルケレドモ、誤解ノナイ爲ニ、重要ノ問題デアリマスルカラ茲ニ御尋ネシテ置ク次第デアアル、又此貴族院令ノ改正ハ貴族院ノ同意ヲ要スルト云フ一種ノ日本ハ制度ニナツテ居リマス、其制度ノ白紙ノ上デアッタナラバ色々得失論モアリマセウガ、先帝ノ御定メニナリマシタ憲法ノ上ニ於テハ是ハ動カスベカラザルコトニナツテ居ル、何レ院令御改正ニ付テハ此趣意ハ十分御尊重アルコトトハ思ヒマスケレドモ、昨日ノ御言葉ガ如何ニモ簡單デアリ、或ハ誤解ヲ惹起スノ虞ガナイトモ存ジマセヌカラ、茲ニ念ノ爲ニ御尋ネシテ置キマス、ソレカラ既ニ湯地君カラモ御尋ガアリマシタガ、又柳澤伯カラモ御尋ガアリマシタガ、綱紀肅正トカ、行

政財政ノ整理トカ、又御話ハゴザイマセヌガ、物價ノ調節トカ、或ハ思想ノ問題トカ云フコトハ、是ハ歷代ノ内閣ガ屢々其實行ヲ誓ハレタコトデアリマスルガ、孰レモ手形ノ濫發、手形ヲ濫發シテ少シモ其手形ヲ支拂ハレタコトハ殆ド無イ、其結果、今日ニ於テ日本ノ財政ト云フモノハ行詰ツテ仕舞ツテ居ル、又國民ノ生計費、又國ノ生産費、從ツテ生計困難カラ思想問題モ惡化シ、歷代ノ内閣ノ失策ノ結果ガ積リ積ツテ遂ニ今日ノ行詰リヲ生ジタ、所謂行詰ツテ仕舞ツタノデアアル、此度コソハ加藤首相ニ於テモ手形ノ支拂ヲナサリヤナラス、手形ノ決濟ヲ御付ケニナラナケレバナラス、是ニハ確乎タル御決心ガアルカ、又從來ノ内閣ノ如クニ大イニ手形ヲ振出しテ置イテ、後ハサツサト知ラヌ顔デ行ツテ仕舞フト云フヤウナコトガアルト、遂ニ國家ヲ誤ル、既ニ誤ツテ居ラヌカト云フノハ、外國爲替、即チ米國トノ爲替ガ五十弗百圓デアアルベキモノガ、四十弗ニ下ツテ居ルノデアアリマセヌカ、何ノ事ダ、詰リ財政ニハ彌縫ニ彌縫ヲ重ニ當ル者ハ所謂綱紀ガ弛ンデ甚ダ無責任ナルコトヲ致スト云フヤウナコトカラ、到頭此生計費ハ高クナル、物價ハ高クナル、勞銀ハ高クナル、輸入ハ超過スル、輸出ハ減ツテ仕舞フ、爲替ハドシ／＼下落シテ仕舞フ、遂ニ四十弗ヲ割ツテ三十弗臺ニモナツタノデアリマス、ソレ故ニ帝國經濟會議ニ於テ此事ニ付テヤカマシク論議シタ、其翌日頃カラ幾ラカ爲替ガ戻ツテ參ツタ、今日デハ四十一弗ニモ戻リマシタガ、兎ニ角此百圓ガ五十弗デアラネバナラヌモノガ、四十弗ニモ三十弗ニモ下ツタト云フコトハ、財政上ニ於テモウソコニ破綻ガ生ジテ居ル、一圓ガ一圓ノ實價ヲ失ツテ居ルノデアアル、サウ云フコトヲシテマダ顧ミナイト云フナラバデス、到頭此財政ト云フモノハ全ク行詰ツテ仕舞ハナケレバナラヌコトニナル、デ行政財政ノ整理、是ハ聞クコトハ久シイ、之ヲ此演壇デ堂々ト述べラレタコトハ幾回ナルヲ知ラナイ、併ナガラ少シモ其實行ハ見ナイ、段々段々惡クナツテ仕舞ツテ、到頭大事ナ國家ノ通貨ノ上ニ疵ガ付イテ仕舞ツテ居ル、之ヲシモ尙ホ顧ミナイト云フナラバ、殆ド此國政ノ任ニ當ツテ居ル者ハ其責任ヲ知ラヌト云ハナケレバナラス、甚シイコトデアリマス、デ此度ハ必ズ手形ヲ決濟シテ載クト云フコトヲ國民ハ要求イタシテ居ル、又總理ノ御決心モソコニアラウト思フ、其御決心ニ對シテハ我々ハ何處マデモ御賛成スルノデアリマシテ、十分ニ其行政財政……中央地方ヲ問ハズ、ソレハ必ズ不平ハ起リマセウ、費用ヲ減ズト云ヘバ必ズ其局ニ當ツテ居ル人ハ必ズ不平ヲ言ヒ

マセウガ、是ハ斷然タル處置ヲ執ラナケレバ、モウ國家ヲ奈何セム、斯ウ云フコトニナルデアラウト思フ、而シテ尙ホ一步進ンデ、大藏大臣ハ此外國爲替ノ今日ノ四十一弗ト云フヤウナノデ、御満足ニナツテ居ルノカ、之ヲドウニカシテ五十圓ハ五十圓、百圓ハ五十弗ト云フコトニ、引戻スト云フコトニ付テノ何カ御成案ガアルノカ、ソレヲ一ツ伺ッテ置キタウゴザイマス、ドウ云フ政策ヲ御執リニナルカ明カニ伺ヒタイ、又マダ速記ハ拜見イタシマセヌガ、昨日衆議院ニ於テ大藏大臣ハ公債ノコトニ付テ御演説ガアツタ趣デアアル、公債ノ募集ト云フモノハ見合セル、ケレドモ預金部ガ引受ケルトカ、色々ノコトガアツタト云フコトヲ傳ヘ聞キマスガ、發行ヲ見合セル譯ニハ行カヌノデアリマスカ、寧ろ御決心ナサルナラバ、民間デ一般ニ募ルノモ惡イガ、預金部カラ募ルノモ矢張り惡イ、發行ヲ止メルト云フ譯ニ行カヌノカドウカ、ソコマデ御決心ガ取レヌノデルカ、又單ニ發行ヲ止メルバカリデヤナク、償還ヲモット多クスルト云フコトガ出來ヌノデアルカ、今日大藏大臣ハ發行シテ居ル公債ノ値打ヲ御覽デゴザイマセウ、發行價格ヨリズント下ッテ居ルチヤアリマセヌカ、九十五圓ニ發行シタモノガ、九十圓ニモ下ルト云フヤウナ財政ノヤリ方ハ國民ハ満足イタシマセヌ、然ラバ既ニ公債ノ價格ニ於テモ日本ノ財政ハ疵ガ付イテ居ル、デ、政府ノ財政ニ向ッテ疵ガ付キ、公債ノ價格ガ下ルカラシテ金利ハ上ッテ來ル、工業ハ振ハヌヤウニナツテ來ル、又此非常ナル困難ト云フモノヲ日本ノ經濟界ニ惹起シテ、今日日本ノ經濟界ハ生計費ヲ下ゲル、生産品ヲ下ゲル、成ルベク安イ物品ヲ造ッテ、此輸入輸出ノ調節ヲ圖ラナケレバナラヌ時ニ、政府ノ公債政策ト云フモノハ、全ク之ニ逆行シテ居ルト云フヤウナ譯デアアル、之ハドウナサル、之ハ此手形ノ支拂ヲ付ケルニ付テハ、此公債政策ト云フモノヲ止メナケレバナラヌガ、衆議院デ御話ニナツタ速記ヲ見ナイデ、唯此處デ申スノハ甚ダ疎忽ノヤウデアリマスガ、傳ヘ聞ク所ニ誤リナクバ、矢張り發行ヲナサルト云フコトデアアル、發行ナサレバ矢張り公債ノ價格ガ下ル、又償還ヲ増スト云フコトニ付テハ一向御考ガナイヤウデアリマス、近時、日本ノ公債ハ短期公債短期公債何デモカンデモ銀行屋ヲ呼付ケテ短期ノ公債ヲ無暗ニ發行ナサルノデアリマスガ、其短期公債ノ期限ガ今輻輳シテ居ル、是レ亦行詰リノ狀態ヲ呈シテ居ルノデアリマス、已ムヲ得ズ外國ヘ行ッテ高イ公債ヲ借リテ來ナケレバナラヌト云フヤウナ不體裁ナコトヲシナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ姑息ナ財政ト云フモノハ國民ハ決シテ望ミマセヌ、貴族院モ賛成

シナイ、デ斷然タル此改革ト云フモノヲ一ツ御ヤリニナルコトハドウカ、私ハ此追加豫算デ要求イタシマセヌ、是ハ無理ナコトデ、如何ニ聰明ナ總理大臣、大藏大臣ト雖モ此追加豫算ヲ以テ皆ヤレト云フコトハ是ハ無理デアリマセウガ、此暮ノ本議會ニ於テ是等ノ實蹟ガ明瞭ニ現ハレト云フコトデナイナラバ國民ガ憲政會其他二派ノ人ニ投票シタ意味ハ沒却セラレテ仕舞フ、幸ニ諸公ガ從來ノ異論ヲ棄テ、舉國一致鞏固ナル内閣ヲ造ラレ、有力ナル政治家ノ集マツタ此内閣ニ向ッテ私ハ此暮ノ議會ニ於テ斷乎タル行政財政ノ整理ノ實ヲ舉ゲラレト云フコトヲ希望シテ止マス、此事ガ御約束ガ出來ルカドウカ、更ニ茲ニ伺ヒタイノデアリマス、次ニ一ツ伺ッテ置キタイ、是ハ多少前内閣ノ人ニハ御氣ノ毒ニ存ジマスガ、併シ私ハ憲法ヲ維持シ會計法ヲ維持スルニ付テハ親疎ヲ論ズル譯ニ行カナイ、ソレ故ニ伺ヒマスルガ、火災保險ノ問題ハドウナリマシタカト云フコトヲ伺ヒタイ、昨年九月一日ノ震災ノ爲ニ非常ナル災害ガ起ッテ而シテ地震約款ガアルガ爲ニ、火災保險會社ガ火災保險ヲ支拂ハヌト云フコトカラ、此日本ノ現在ノ商工業ノ制度ハ火災保險ノ基礎ノ上ニ置カレテアルノデスカラ、此基礎タル火災保險ヲ支拂ハヌト云フコトニナツタナラバ、是ハ非常ナル困難ガ來ルコトハ已ムヲ得ヌ、ソレガ爲ニ此保險金ノ幾分ヲ國庫ガ貸シテ、此困難ヲ救ッタラ宜カラウト云フ議ガ直チニ起ッタノデアリマス、併ナガラ其直チニ起ッタ所ノ說ハ其當時ノ内閣ガ容レナカッタ、而シテ之ヲ帝國議會ニ提出シタ所ガ衆議院ニ於テ異論ガアツタ、サウシテ衆議院ガ之ヲ否決セムトシタノデアリマス、或ハ握リ潰サムトシタノデアリマス、其時ニ於テ田農商務大臣ハ斷然責任ヲ執ッテ内閣ヲ御引キニナツタノデアリマヌノデ、到頭政府ノ此議會ノ協賛ヲ經テ火災保險金ノ援助スルト云フコトノ案ハソコデ實行ガ出來ナカッタ、續イテ次ノ内閣、即チ清浦内閣ニ於キマシテ緊急勅令ヲ以テ解決シヤウトセラレタノデアアル、然ルニ聞ク所ニ依レバ樞密院ニ於テハ斯ノ如キモノハ緊急勅令ヲ以テ處分スベキモノデナイ、憲法ノ精神ニ悖ルト云フヤウナ經緯ガアツテ、ソレヲ撤回セラレタ趣デアリマス、而シテ其後ノ處分ニ尙ホ時ノ内閣ガ窮シタガ爲ニ國庫剩餘金支出ノ名義ヲ以テ六千萬圓デアアルカラ支出セラレタト云フコトデアアル、デ私ガ尋ネルノハ現内閣ニナツテカラ、一錢一厘ヲ此爲ニ御出シニナツタコトガアルカ、一錢一厘モモウ此爲ニハ現内閣ハ御出シニナラナカッタカ、又此問題ト云フモノハ何レ前内閣カラ御引繼ニナツタデアラウガ、現内閣ハ正當ナリトシテ引繼ヲ御受ケニナツ

タカ、ソレガ伺ヒタイノデアリマス、私ハ此火保問題ハ金ヲ渡シテ救助スルト云フコトノ必要ニ必要ヲ今日論ズルデアリマセス、如何ナル必要ナコトガアツテモ、此帝國議會ノ一院ガソレヲ否トシ、樞密院ニ於テ之ヲ否トシタモノモ政府ガ勝手ニ出セルト云フコトデアレバ、此憲法ノ制度ノ上ニ一ツノ缺陷ガアリハシナイカ、會計法ノ上ニ缺陷ガアリハシナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマス、サウ云フコトノナイヤウニ憲法、會計法ハ出來テ居ルノデハナイノカ、斯ウ思フノデアリマスガ、是ハ現内閣ニ於テモ支出ナサツタノデアルカ、支出ナサラヌノデアルカ、支出ナサラヌニシテモ前内閣カラ正當ナリトシテ御引繼ヲ御受ケニナツタノデアルカドウカ、是ハ明カニ聞イテ置キタイノデアリマス、又新聞ノ傳フル所ニ依レバ、朝鮮銀行ノ困難ナルガ爲ニ預金部ノ資金五千萬圓ヲ低利ニ此朝鮮銀行ニ貸サレタト云フコトデアリマスルガ、預金部ト云フモノハ何デアルカト云フト、零碎ナル國民ノ資金ヲ國庫ノ……國家ノ信用ヲ以テ預ツテ居ル、國家程國民ハ信用スルモノハナイノデアリマスカラ、國家ニ預ケレバ大丈夫ダト云フノデ、零碎ナル資金ヲ預ツテ居ラレル、故ニ國家ハ此細民ノ貯蓄ト云フモノハ最モ安全ニ、又最モ有利ニ利殖スルノ義務ガアルノデアリマス、朝鮮銀行ト云フモノヲ救済スルコトガ必要カ不必要カト云フコトハ私ハ論ズルノデアリマセス、朝鮮銀行ガ若シ困難ナラバ之ヲ救済シテ差支ナイ、ソレガ若シ國家ノ必要デアレバ差支ナイノデアリマスカラ、其事ニ付テ私ハ今日茲ニ論ズルノデアリナイガ、併ナガラ其朝鮮銀行ヲ救済スルト云フナラバ、ソコハ少シク此銀行ノ信用ガ薄イト云ハナケレバナテス、其信用ノ薄イモノハ此預金部ノ金ヲ貸スト云フコトハドウ云フコトデアルカ、ソレガ國民ニ對シ、貯金者ニ對シ深切ナル仕方デアルカ、又其事柄ハ預金部ガ勝手ニ出來ルト云フナラバ甚ダ此預金部ノ規則ト云フモノハ不完全ナモノデアアル、帝國議會ハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ストキニハ議會ノ協賛ヲ要スト云フ憲法ノ明條ガアル、併ナガラ運用ノ下ニ小サナ金額マデハ問ハスケレドモ、運用運用ト云フ名ノ下ニ斯ノ如キコトガ出來ルト云フナラバ、是レ亦憲法カ會計法ニ缺陷ガナクチャナラヌ、是レ亦現内閣ノ代ニナツテカラ朝鮮銀行ヘ預金部カラ金ヲ支出ニナツタコトガアリマスカ、又無イニシテモ是ハ前内閣カラ正當ナリトシテ御引繼ヲ受ケラレタノデアアルカ、是モ御尋ネシタイノデアリマス、是ガ私ノ質問ノ要領デアリマス、少シ數ガ多クナリマシタガ、甚ダ長イ時間ヲ費シマシテ……

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣〔子爵加藤高明君〕 唯今、阪谷男爵ヨリ種々ノ事項ニ付キマシテ御尋ガアリマシタ、其中ニハ主管大臣ヨリ答ヘテ貰ツタ方ガ便利ナ問題モアルヤウニ思ヒマスルガ、先ヅ以テ特ニ總理大臣ニ御尋ニナリマシタ事柄ニ付テ私カラ御答イタシマス、私ガ昨日施政ノ方針ヲ述ベマシタ際ニ貴族院改革ト云フ言葉ヲ用キタト云フコトヲ二三度申サレマシタガ、改革ト云フ言葉ハ用キマセヌ、改善ト申シタノデアリマス、是ハ明カニ改革ト云フ言葉ト區別シテ改善ト云フコトヲ唱ヘタ積リデアリマス、而シテ如何ニ之ヲ改善スルカト云フコトニ付テハ、是ヨリ時代ノ趨向ヲ見テ慎重ニ考究イタス積リデアリマスルカラ、未ダ結論ニ達シテ居ラヌコトハ申スマデモナイノデアリマス、併シ是ダケノコトハ斷言シ得ルノデアリマス、憲法ニ關係スルコトマデ變更ヲ求メルト云フ考ハ少シモゴザイマセヌ、今日、攝政ノ在ラセラル内ハ出來ヌコトモ承知イタシテ居リマスルシ、サウデナクテモ憲法ニ觸レルト云フヤウナ考ハ毛頭ゴザイマセヌト云フコトハ明カニ申シテ置イテ差支ナイノデゴザイマス、ソレカラ綱紀肅正、行政整理等ノコトニ付テハ是マデ屢、時ノ政府ガ言明シタケレドモ、何時モ實行ニ終ラズシテ濟ンダト云フ御話デアリマシタ、是ハ私モ御同様ニ考ヘルノデアリマス、ケレドモ今度ノ政府ハ決シテ口先ニ唱ヘルコトバカリデナク、力ノ及ブ限り渾身ノ力ヲ以テ此事ニ當ル積リデ居リマス、而シテ其成績ノ如何ナルモノガ舉ルカト云フコトハ今ヨリ豫メ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、我々微力ナガラ力ノ及バム限りハ此目的ニ向ツテ勇往邁進スル積リデアルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ火災保險ノコト、是ハ前ノ内閣ノ時ニ種々ナル議論ヲ經テ出來タコトノヤウデアリマス、タシカ六千二百萬ノ金ヲ支出シテ、小口ノ保險者ニ厚ク、大口ノ保險者ニ薄イト云フヤウナ趣意デ、五月五日ニ支拂ヲ開始シテ六月ノ末ニ概ネ終了シタト云フコトヲ承ハツテ居リマスガ、我々ノ内閣ハ御承知ノ通り六月十一日ニ出來タノデアリマスカラ、其後ニ支拂ガ尙ホ有ツタヤ否ヤト云フコトハマダ承ツテ居リマセヌガ、兎ニ角、事柄ハ善カレ惡シカレ、我々ノ就職前ニ疾ク決マツテ仕舞ツタコトデアリマス、多少ノ支拂ガ殘ツタトシテモ、我々ガ職ニ就イタ爲ニ俄ニ支拂ヲ止メルト云フコトモ困難デアツタカモ知レマセヌガ、事實唯今私ハ知ツテ居リマセヌ、必要ナレバ農商務大臣ヨリ答辯ヲシテ貰フコトニ致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ朝鮮銀行ヘ低利ニテ數千萬圓ノ金ヲ預金部

ヨリ融通シタト申スコト、此事柄モドウ云フコトデアリマスルカ、前内閣ノ時ニ出来タコトデアリマス、今茲デ當否ヲ論ジマセヌガ、其事ノ詳細モ大藏大臣ヨリ御答シタ方ガ便利カモ知レマセヌ、是ダケノコトヲ申シテ置キマス、而シテ外交ノコトハ外務大臣ヨリ精シク御答ヘスル筈デアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 唯今、阪谷男爵ノ御質問ノ中デ外交ニ關スル部分ニ付キマシテ御答辯ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、第一ニ阪谷男爵ハ私ガ此排日問題ニ關シ日本國民ノ感情ヲ誤解シ、輕ク視過ギテ居ルノデハナイカト云フ風ナ御言葉ガアリマシタ、私ハ決シテ此問題ニ關シテ國民ノ感情ヲ輕ク視テ居ル譯デアリマセヌ、最モ重要視イタシテ居ルノデアリマス、重要視シテ居ルカラドウカシテ此問題ノ圓滿ナル解決ニ盡シタイト思ッテ、唯今百方苦心イタシテ居ル次第デアリマス、尙ホ前内閣ノ時代ニ即チ去ル五月ノ三十一日附デ日本政府ノ米國政府ニ送リマシタル公文書中ニモ、日本ノ政府ガ如何ニ此問題ニ重キヲ置イテ居ルカ、又日本國民ノ感情ガ何故此問題ニ依ッテ不安ヲ感ズルカト云フ理由ハ十分説明イタシタル通りデアリマシテ、其公文書ヲ御覽下サレバ大體政府ノ有ッテ居ル意見モ御分リ下サルコトト存ジマス、又米國ニ於キマシテモ少クトモ米國政府ハ此問題ヲ輕ク視テ居ルノデハナイト私ハ信ジマス、此問題ノ性質ヲ輕視シテ居ラスコトハ本案ノ米國議會ニ繫續イタシテ居リマス間ニ、國務卿ガ下院ノ移民委員會ノ委員長ニ宛テタル書面中ニ於テ相當ニ力強ク米國政府ノ態度ヲ説明イタシテ居リマス、其書面ノ中ニハ先ヅ第一ニ其當時下院ニ現ハレテ居ッタ移民法案中ニハ條約違反ノ點ガアルト云フコトヲ主張イタシテ居リマス、此法律案成立ノ時ニ當リマシテハ亞米利加ノ國務卿ノ意見ヲ參酌イタシマシテ相當ノ改正ヲ加ヘラレテアルノデアリマス、ソレカラ移民ノ問題ニ付キマシテハ國務卿ハ是ハ條約違反ノ問題デハナイケレドモ米國ノ國策トシテ、政策トシテ、極メテ其當ヲ得ナイモノデアルト云フ説明ヲ致シテ居リマス、即チ第一ニ斯ノ如キ立法手段ヲ此際執ルコトハ必要ノナイコトデアル、事實不必要ナコトデアルト云フ説明ヲ致シマシテ、其關係ニ於テ紳士協約ノ成行モ説明イタシテ居リマス、又斯ノ如キ立法ガ成立スレバ不必要ニ日本國民ノ正當ナル感情ヲ刺激スルト云フコトモ力説イタシテアリマス、米國政府當局者ガ此問題ヲ決シテ輕ク視テ居ルノデナイト云フコトハ其書面ノ中ニモ現ハレテ居ルト思ヒマス、此不愉快ナル

事態ニ際シマシテ我ガ國民ガ自分ノ感情ヲ節制シテ自重イタシテ居ルト云フコトハ、私モ能ク承知イタシテ居リマス、唯近來二三ノ不愉快ナル事件ガアリマシテ、日本國民ノ節制イタシテ居ルト云フ事實ヲ誤解セシメルヤウナ、外國ニ於テ誤解セシメルヤウナ虞ガアツタノデアリマスケレドモ、大體ニ於テ此問題ガ始マツテカラ以來、日本國民ノ執リ來レル態度ニ付キマシテハ、米國ノ大體ノ輿論ハ必ズ諒トシテ居ルコトト信ジマス、今後ニ於キマシテモ日本國民ハ大國民ノ襟度ヲ以テ合理的手段ニ依リ其目的ヲ貫徹セシムルコトヲ努ムルコトト私ハ信ジテ居リマス、本件ノ解決方法ニ付キマシテ次ニ御質問ガアリマシタ、要スルニ本問題ノ根本ニ於キマシテハ結局米國ニ於ケル國民ノ覺醒ニ俟ツシカ仕方ナイノデアアル、是ガ爲ニハ日本ノ正當ナル主張ノ立場ト云フモノヲ能ク米國國民ニ徹底セシムルヤウニ努メナケレバナラヌト思ヒマス、其目的ノ爲ニハ我々ニ於キマシテモ出來ルダケ合理的的手段ハ盡シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、要スルニ昨日モ申述ベマシタ如ク、本問題ノ圓滿ナル解決ノタメ、又多年ニ亙ル日米ノ國交ヲ永遠ニ確保セムガ爲ニハ我々ハ出來ルダケノ手段ハ執ル決心デ居リマス、次ニ紳士協約ト南米行移民ノコトニ付キマシテ御質問ガアリマシタ、南米行ノ移民ノコトハ紳士協約ト從來何等ノ關係ガアリマセヌ、南米行ノ移民ヲ紳士協約ニ依ッテ制限シタリ取締ラシタコトハ斷ジテアリマセヌ、唯紳士協約ノ中ニハ合衆國ノ領土ニ接近スル地方ニ行ク移民ニ付テハ、同様ノ制限及取締ヲ行フト云フ一箇條ガアルノデアリマス、其結果ト致シマシテ墨西哥地方ニ到リマスル移民ニ付キマシテハ、從來ハ相當ノ制限及取締ヲ行ヒ來タツタノデアリマスルガ、南米行ノ移民ハ全ク別問題デゴザイマス、何レニ對シマシテモ紳士協約ナルモノハ此七月一日ヨリ效力ヲ失ツタ次第デアリマスルカラ、最早日本政府ハ何等ノ德義上ノ責任モ、移民ノ制限ニ付テハ何國ニ對シテモ有ッテ居ナイノデアリマス、從テ南米中米ハ固ヨリ墨西哥ニ對スル移民ト雖モ今後ハ一方ニ於テハ日本、他ノ一方ニ於テハ其當該國、其雙方ノ立場ヲ考ヘマシテ、適當ニ移民ニ關スル問題ヲ調節イタス考デアリマス、ソレカラ終リニ、二重國籍法及外國人土地所有權ニ關スル法律改正案ノコトニ付キマシテ御質問ガアリマシタ、此二ツノ問題ハ誠ニ重要ナル問題デアルト存ジマス、現ニ唯今政府ニ於キマシテハ、此二ツノ問題ニ付キマシテ、十分熱心ナル考究ヲ盡シテ居ルノデアリマス、其中、二重國籍ニ關スル法律案ニ付キマシテハ此議會ニ、此會期ニ、提出イタシタイ考ヲ

以テ唯今大體案ガ纏ッテ居ル次第デアリマス、是等ノ問題ハ、日本ノ利益ヨリ見テ必要ヲ認メル問題デアリマスカラ、移民法ノ成行、問題ノ成リ行ニ拘ラズ、政府ニ於テ決定シテ必要ト認メルコトハ議會ニ提出シテ御協賛ヲ仰ギタイト存ジテ居リマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ阪谷男爵ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致サウト思ヒマス、第一ニ爲替相場ガ今日ハ非常ニ低落ヲ致シテ居ルガ、此爲替相場ノ回復ニ付テハ政府ハ如何ナル方策ヲ持ッテ居ルカト云フ御質問デアリマス、如何ニモ今日ノ爲替相場ハ殆ンド前例ヲ見ナイ所ノ低落ヲ告ゲテ居リマス、最近ニ於キマシテハ、四十一弗二分ノ一ニナッテ居リマス、最モ下落ヲ致シマシタ時ハ四十弗ヲ少シ降ッタカト思ヒマスガ、幸ニシテ最近ニハ幾ラカ回復ノ傾向ガ現ハレテ居ルデアリマス、併ナガラ四十一弗二分ノ一ノ安イ爲替相場ヲ以テ、政府ハ決シテ満足ヲスベキモノデナイコトハ、是ハ男爵ト全然御同感デアリマス、然ラバ如何ニシテ此低落セル爲替相場ヲ回復スベキヤト申シマス、私ノ考ヲ申シマスレバ、徒ラニ人爲ヲ以テ強ヒテ之ヲ釣上ゲルコトハ策ノ得タルコトデアルマイト考ヘマス、若シ今日ノ狀態ニ於テ、此爲替相場ヲ、或ハ二分ノ一或ハ一弗ト云フ如ク釣上ゲテ試ミムトシマスルナラバ、ソレハ出來ナイコトハ無イト思ヒマスケレドモ、大體爲替相場ノ低落ノ原因ガ御承知ノ通り非常ナル所ノ貿易ノ逆調ニ基イテ居ル、其根本ノ原因ガ直ラナイ限リニ於テハ、人爲ヲ以テ之ヲ左右イタシマシテモ、ソレハ僅ニ一時ノ利キ目ニ止マリマシテ、其藥ノ利キ目ガ消滅イタシマスレバ、爲替相場ハ直チニ元ノ通りニ低落スルコトハ極メテ見易キ道理デアルト信ジマスニ依ッテ、政府ハ徒ラニ人爲ヲ以テ相場ノ變動ヲスルコトハ避ケタイ考ヲ持ッテ居リマス、ソレ故ニ相場ノ回復ノ唯一ノ方策トシマシテハ何ト申シマシテモ、爲替相場ノ低落ノ根本ノ原因タル所ノ貿易ノ逆調ノ勢ヲ緩和スル外ニハナイト思ヒマス、而シテ貿易ノ逆調ノ勢ヲ緩和イタシマスルニハ種々ノ方策ガアラウト思ヒマスケレドモ、政府ト致シマシテハ、第一ニ努ムベキコトハ、是ハ行政財政ノ思切ッタル整理緊縮ノ斷行ニ外ナラヌト思ヒマス、而シテ國民全體ニ向ッテ私共ノ希望スル所ハ戰時中カラ段々ト馴致サレマシタル所ノ輕佻奢侈ノ氣分ヲ一掃イタシマシテ、勤儉力行ノ氣風ヲ振作イタシ、ソレニ依ッテ消費ヲ節制シ、又民間ノ經濟ニ於テモ出來得ル限り財界ノ整理安定ニ努ムルト云フ方法

ヲ講ジマシテ、朝野相俟ッテ、始メテ財政經濟ノ基礎ヲ立直スコトガ出來ルアラウト思ヒマス、其財政經濟ノ基礎ガ立直リマスル時ニ於テ、始メテ貿易ノ逆調ノ勢ガ緩和サレマシテ、其緩和サレルニ從ッテ、爲替相場ハ漸次騰貴ヲ致シテ平價ニ近ツイテ來ルデアラウト思ヒマス、其根本ノ手段ノ外ニハ今日執ルベキ方法ハ私ハ無イデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、第二ノ御質問ハ公債政策ニ關スル御質問デアッタノデアリマス、政府ノ公債政策ニ付キマシテハ、昨日衆議院ニ於テ演說ヲ致シマシタ、マダ速記ヲ御覽ニナッテ居ラナイヤウデアリマスカラ、其大體ヲ先ヅ以テ申上ゲヤウト思ヒマスガ、前內閣ノ公債募集ノ計畫ト致シマシテハ、大正十三年度ニ於テハ公債ノ募集ヲ要スルモノガ、四億三千餘萬圓ニ上ボルノ計畫デアッタヤウデアリマス、現內閣ハ其四億三千餘萬圓ノ中カラ、成ルベク公債募集ニ依ル方法ヲ避ケタイト云フ考ヲ以テ二三ノ事項ヲ削除イタシタノデアリマス、第一ニハ復興局ノ事務費二百餘萬圓デアリマス、是ハ是マデノ計畫ニ依リマスレバ、公債支辨事業デアッタノデアリマスルガ、此復興局ノ事務費ハ御承知ノ通り帝都復興、若クハ震災復興ノ如キ實際ノ事業トハ違ヒマシテ、單ニ復興局ト云フ役所ノ事務費ニ過ギマセヌガ爲ニ、此事務費マデモ公債財源ニ仰グト云フコトハ穩當デナイト云フ考ヲ以テ、是ハ公債支辨事業カラ除キマシテ、普通ノ財源ノ支辨ニ移シタノデアリマス、第二ニハ經濟復興ノ公債總額ハ二億三千五百萬ト云フ前內閣ノ計畫デアリマシタ、其十三年度ニ於ケル年割額ハタシカ三千五百萬デアッタト記憶ヲ致シマスガ、現內閣ハ經濟ノ復興ト云フコトノ必要ハ飽マデモ認メマスケレドモ、其財源ヲ公債ノ公募ニ仰グト云フコトハ然ルベカラズト云フ考ヲ持チマシテ、其財源ハ別途之ヲ考究スルコトニ致シマシテ、一先ヅ公債募集ノ計畫カラ控除イタシタノデアリマス、其次ニハ臨時軍費ノ公債ノ是マデ募集スベクシテ、募集ガ未済ニナッテ居リマシタ所ノ一億餘萬圓、此モノハ年度內ニ於テ必シモ募集ヲ要シナイト云フ狀況ニアリマスルガ故ニ、十三年年ニ於ケル公債計畫カラハ省イタノデアリマス、其三コトヲ差引キマスルト云フト、大正十三年度ニ於テ公債ヲ募集スルト云フ必要ノアリマスル金額ガ二億九千五百九十餘萬圓ト相成ッタノデアリマス、然ルニ此三億ニ近イ所ノ公債ヲ一般ノ市場ニ於テ公募シマスルト云フコトハ、現在ノ經濟界ノ現況ニ鑑ミマシテ甚ダ宜シクナイト云フ考ヲ私共ハ持チマシタガ爲ニ、成ルベク此公債ヲ一般ノ市場ニ公募スルト云フコトヲ避ケルノ方針ヲ執ッタノ

デアリマス、其方策ト致シマシテハ、先ヅ以テ曩ニ御承知ノ通り、英米ノ市場ニ於テ募集イタシマシタ外債ノ中、一億五百餘萬圓ヲ以テ之ニ充當イタシマシタ、サウシテ預金部ノ餘力ガ幸ニ大分出來テ居リマシタカラ、其中一億五千四百八十萬バカリヲ預金部ニ引受ケシメマシタ、残りノ三千五百萬圓ハ之ヲ郵便局ノ賣出シニ仰グト云フノ方法ヲ講ジマシテ、斯ノ如クニ致シマシテ、一般市場カラ公募スルコトハ十三年度限りニ於テハ、之ヲ避ケルコトガ出來タノデアリマス、而シテ十四年度以降ニ於キマシテ、果シテ十三年度ト同様ニ、總テノ公債ヲ一般市場ニ公募スルコトヲ絕對ニ避ケルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、今日ニ於テ私責任ヲ以テ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、緊急已ムヲ得ナイモノヲ除クノ外ハ、公債ノ募集ハ成ルベク之ヲ差控ヘマシテ、殊ニ一般市場ニ於ケル公募ハ出來得ル限り十四年度以降ニ於テモ、之ヲ減少スルノ方針ヲ執リタイト思ッテ居ル次第デアリマス、唯今阪谷男爵ノ御説ニ依リマスレバ、一般市場ニ於テ公募スルコトハ止メタケレドモ、預金部ニ於テ之ヲ引受ケルコト云フコトハ、ソレハ姑息ナ方法デハナイカト云フ意味ノ御尋ガアッタノデアリマスルガ、如何ニモ是ハ御説ノ通り姑息ノ方法デアリマス、出來得ルナラバ、公債支辨事業ソノモノヲ出來得ル限り緊縮ヲ致シマシテ、預金部ノ引受ヲ止メタイ考ヲ持ッテ居リマスケレドモ、此過渡ノ場合ニ於テ、一舉ニシテ私共ノ理想ヲ達スルコトハ困難デアリマスカラ、已ムコトヲ得ズ預金部ノ引受ノ數字ヲ大分多ク致シタ譯デアリマス、將來ニ於テハ、預金部ノ資金ノ運用ノ方法ト致シテ公債ヲ引受ケルコト云フコトハ、是ハ別問題ニ致シマシテモ、財源ノ調達ノ爲ニ預金部ヲ利用スルコト云フコトハ、成ルベク之ヲ避ケル方針ヲ執リタイト思ッテ居リマス、其次ニ公債ノ政策ヲ改メテ、公債償還ノ金額ヲ増加スルコト云フ考ハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、私共モ男爵ト御同感デアリマシテ、若シ財政ノ事情ガ許シマスルナラバ、公債ノ償還額ヲモ増加シタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマスケレドモ、奈何セム、今日ノ我國ノ財界ノ現狀ハ殆ド病膏肓ニ入ッテ居ルコト云フ狀態デアリマシテ、ナカ／＼一舉ニ致シマシテ總テノ事柄ヲ解決スルコト云フコトハ困難デアリマス、依ッテ漸ヲ逐ウテ我々ノ理想ヲ達シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレ故ニ直チニ減債基金ノ繰入ヲ増加イタシマシテ、公債ノ償還ノ金額ヲ殖ヤスト云フコトハ責任ヲ持ッテ今日斷言スルコトハ遺憾ナガラ出來ナイ狀態デアリマス、又短期公債ガ大分溜マッテ居リマシテ、年々數億萬圓ノ借換ガ幅

輳スルヤウナ狀態デアリマス、私共ノ希望ト致シマシテハ財政行政ノ整理緊縮ニ依リ或ハ公債公募ノ出來得ル限りノ減少ニ依リ、其他國民ノ貯蓄ノ獎勵ノ方法ニ依リ、成ルベク市場ノ狀況ヲ改善イタシマシテ、短期公債ノ如キハ、期限ノ來リマスルニ及ンデ、出來得ル限り之ヲ長期公債ニ借換ヘルト云フ方針ヲ執リタイモノト思ッテ居リマス、火災保險ノコトニ付テハ既ニ總理大臣カラ御答辯ガアリマシタジ、又農商務大臣カラモ御答ガアラウト思ヒマスカラ私ハ之ヲ差控ヘマス、最後ニ朝鮮銀行ニ對シ預金部ヨリ何ガシノ金額ヲ融通シタコトガアルト云フ御話ガアリマシタガ、如何ニモ是ハ男爵ノ御説ノ通りサウ云フ事實ガアッタノデアリマス、而シテ是ハ單リ大藏省限りノ議論ヲ決定イタシテヤッタバカリデナク、既ニ朝鮮銀行ニ向ッテ其指令ヲ與ヘタ後ニ、内閣ガ更迭シタノデアリマス、從テ金額ノ支出シマシタモノハ其一部分デアリマシテ、支出未済ノモノガ多少アルカト記憶ヲ致シマスガ、其残りハアルニ致シマシテモ既ニ外部ニ向ッテ此事ヲ發表イタシ、當該銀行ニ向ッテ指令ヲ發シ、其指令ヲ受ケタ朝鮮銀行ニ於テハソレゾレノ目的ト致シマシテ種々ナ計畫ヲ致シテ居リマス今日デアリマス故ニ、此支出ノ未済金額ヲ取消スト云フコトハ穩當デナイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、而シテ預金部ニ向ッテ斯ノ如キ資金ヲ融通シタルコトヲ現内閣ハ正當ナリトシテ、前内閣カラ引繼ギヲ受ケタノデアアルト云フ御質問ニ對シマシテハ、前内閣ガ如何ナル事情ニ依ッテ朝鮮銀行ニ融通ヲ致スト云フ方針ヲ決定シタカト云フ其當時ノ狀態ニ付テハ前内閣ノ當局者、各見ル所ガアッタノデアアラウト思ヒマス、從テ私ハ其當時ノ狀況ニ遡ッテ其當否ヲ公然此處デ論ズルコトハ避ケタイト思ヒマス、唯現内閣ノ方針トシテハ、將來ニ互ッテハ斯ノ如キコトハ慎ミタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、又預金部ノ改善ノ問題ニ付キマシテハ、私共豫テヨリ御説ノ通りノ考ヲ持ッテ居リマス、其運用ノ方法竝ニ制度ノ改善ニ付テハ相當ニ考慮ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、是ダケヲ御答ヘ申シマス

〔國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高橋是清君) 阪谷男爵ヨリ火災保險ノ問題ニ付テ御質疑ガアリマシタガ出來ルダケノ御答ヲ致シマスガ、昨年九月ノ震災火災ニ伴ヒマシテ、此火災保險問題ト云フモノハ起ッタノデアリマス、前々内閣ニ於キマシテ苦心セラレタ結果、第四十七回ノ帝國議會ニ、保險會社ニ對スル貸付ニ關スル法律案、保險會社貸付資金公債法案ト云フモノガ御承知ノ通り提出セラレマシ

テ、衆議院ノ委員會ニ於キマシテハ審議未了ニナリマシタコトハ先刻男爵ノ御質疑中ニモ御述べニナツタ通りデアリマス、本年ニ入りマシテハ被保險者ノ方ノ側カラシテ見舞金ノ要求ノ聲ガ激烈ニナツタノデアリマス、而シテ保險會社ヨリモ政府ニ對シテハ、政府ノ援助ヲ受ケル下ニ於テ見舞金ヲ支拂ヒタイト云フコトヲ前内閣ニ向ッテ請願シテ參ッタノデアリマス、ソコデ前内閣ハ保險會社ニ對シマシテ見舞金ノ出捐ヲナス爲ニ、之ヲ援助スル爲ニ助成金ヲ交付スルト云フ方法ヲ立テマシテ、サウシテ其經費ハ責任支出ヲ以テ辨ズルコトト致シタノデアリマス、ソコデ四月十四日ニ勅令第八十四號保險會社ニ對スル助成金ニ關スル件及同月十九日農商務省令第六號大正十三年勅令第八十四號ニ依ル助成金ニ關スル件、斯ウ云フモノガ公布セラレ、同月二十三日ニハ保險會社出捐助成金六千五百萬圓ノ豫算外支出ノ勅裁ヲ經マシテ、更ニ同月三十日之ニ關スル事務費ノ豫算外支出ノ勅裁ヲ經マシテ、五月三日保險會社ニ對スル助成金ニ關スル事務ニ從事スル臨時職員ノ設置ヲ要スル其官制ガ公布セラレタ次第デアリマス、デ現今ニ於キマシテハ、此責任支出決定メマシタ六千五百萬圓ノ中、既ニ交付済ノモノハ六千二百八十四萬圓餘ニナツテ居リマス、而シテ前内閣存立中ニ支出シマシタモノハ六千六百萬圓餘デアリマシテ、現内閣ニナリマシテカラ、其殘ノ中百五十一萬圓餘支出ガアリマシテ最早八九分通り實行済ニナツテ居リマス、尙ホ詳細ノコトニ付テ御尋ガアリマスレバ、ドウカ豫算總會ニ於キマシテ政府委員ヨリ細カイコトハ御答ヲ致スヤウニ致シタイト考ヘマス、大體御答ヘ致シマス

○男爵阪谷芳郎君 唯今ノ農商務大臣ノ御答ハ、少シ私ノ聞イタノト所ガ外レテ居リマス、併シモウ餘日ノナイコトデゴザイマスカラ、尙ホ此處デ問返シマスト非常ニ時間ヲ要シマスカラ、本員ハ是デ宜シウゴザイマス、又他ノ機會ニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 山脇玄君

〔山脇玄君演壇ニ登ル〕

○山脇玄君 私ハ此機會ニ於テ政府ニ向ッテ質問スルコトハ時機尙ホ早シト見テ居ルノデアリマス、デ昨日ノ總理大臣ノ御演說、外務大臣ノ御演說ノ御趣意ニハ滿腔ノ熱誠ヲ以テ賛成スルモノデアリマス、唯今日一言外務大臣ニ御尋ヲ致シタイノハ、私ハコノ露國トノ通商條約ヲ成ルベク早く締結シタイト云フ論者デアアルノデアリマスカラ、其將來ノ方針ヨリハ寧ロ是マデノ内閣

ガ執ツタ其手續ニ付テ當外務大臣カラ御答ヲ得テ見タイノデアリマス、申スマデモアリマセヌ、今ヤ我國ノ國力ハ次第次第ニ疲弊シテ、此儘ニシテ打置イテ置キマシタナラバ、如何ニ成リ行クデアラウカト云フコトハ國民一般ノ憂ヘテ居ル所、先程モ大藏大臣ガ申サレ、阪谷男爵ノ申サレル通りデアルト我々モ考ヘテ居ルノデアリマス、明治年代ニナリマシテ、明治四十二年、四十三年ヲ除イタ外ハ、毎年毎年輸入ガ超過シ來リ、然ルニ世界大戰中、大正三年ヨリ七年ニ至ル五箇年ノ間ニハ、幸ニ輸出ガ大イニ超過シテ來タ、其超過シタル額モ概算シテ見ルト云フト、十五億餘ニ過ギナイノデアリマス、ソレガ戰爭ガ終結スルト云フト、直チニ又逆轉シテ今日ニ至ル迄ノ間ニハ戰時中ノ輸出額以上ノ額ニ達シテ居ルト云フヤウナ有様デアアルノデアアル、私共ガザツト調べテ見マスと云フト、モウ戰後今日マデニハ十八億位ニ達シテ居ルヤウナ有様ニナツテ居ルノデアリマス、此趨勢ヲ以テ今後モ進ンデ行キマシタナラバ、我國ノ正金ハ次第次第ニ減ツテ遂ニハ皆無トナリハシマイカ、甚ダ心細イ感ジヲ致シマス、今は救濟策ヲ講ゼズシテ放ッテ置イタナラバ、我が大和民族ノ血ト肉トハ吸ヒ取ラレテ、遂ニハ自然自然消滅スルヤウナ悲境ニ陥リハシマイカ、之ヲ救濟スル策トシテハ多種多樣ノ方法手段ガアリマセウケレドモ、不肖ノ考ニ依リマスと云フト亞細亞方面殊ニ露國方面ニ向ッテ通商ノ途ヲ開キ、我が製造品ノ販路ヲ開拓シ、發展スルヨリ外ニハ他ニ名案ハナイデハナカラウカト思フノデアリマス、昨日モ外務大臣ノ言ハレマスルヤウニ我國ト露西亞トハ領土ヲ接シ、通商上有無相通ズルニハ屈強ノ位置ヲ占メテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ歷代ノ内閣ハ或ハ大連、或ハ長春、東京ナドニ於テ内交渉ヲサレマシタケレドモ、イツモ不調ニ終ッテ仕舞ッタノデアリマス、此點デス、此點ガ我々ニ甚ダ分ラナイ、ダガ數回交渉ヲ開イテモ協議ガ調ハナイト云フノハドウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ一言外務大臣ニ御尋ネシタイノデアリマス、是ニハ二ツノ疑問ガアルノデアリマス、其一ツハ昨日外務大臣モ申サレルヤウニ先ツ露西亞ト國交ヲ始メル前ニハ幾多ノ解決シ置クベキ案件ガアルト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、正式ノ國交ヲ開ク前ニ解決シナケレバナラヌ案件トハドウ云フモノヲ云フノデアアルカ、ソレヲ具體的ニ先ツ第一ニ伺ヒタイノデアアル、不肖ノ考デハ此際ハ從來蟬ッテ居ル所ノ案件ハ先ツ後廻シニシテ通商ヲ早く開イテ、徐ロニ横ハッテ居ル所ノ案件ヲ解決スルト謂フ方法ニハ出來ナイモノデアラウカト云フ考カラ、此

事ヲ先ヅ御尋ネシタイ、第二ニハ歷代ノ内閣ハ或ハ小共和國ヲ相手ニシ、或ハ今日デハ支那ニ對シテ談判ヲ開クトカ云フノハ如何ナルモノデアラウカ、不肖ノ考デハ直接ニ我が外交官ノミナラズ、我國ノ有爲ノ大實業家ガソコニ加ハツテ莫斯科ヘ乗リ出シテ、彼ノ政府ト直接ニ談判ヲシタナラバ早ク事ヲ調ヒハシナイカ、今日ノ様ニ北京デ以テ開クト云フコトニナレバ何カ多少ムヅカシイコトガ起レバ、直グ各ノ政府ニ向テ訓令ヲ請ハネバナラヌト云フヤウニ廻リ諄イ手續ヲ執ラネバナラヌカラ、ソレヨリハイソノコト有爲ノ實業家ト外交官ト一致シテ莫斯科ヘ乗出シテ直接談判ヲ開クト云フコトニ、ナゼシナイノカ、此手續ニツニ付テ將來ノ方針ヨリハ是マデドウ云フ譯デ、サウ云フヤウナ手續ヲナサレタカト云フコトヲ、一言御答ヲ得ラルレバ幸デアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 唯今ノ山脇君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、第一點ハ露西亞トノ條約關係ノコトデアリマス、昨日モ申述ベマシタ如ク、我々ハ露國ト成ルベク速ニ條約關係ヲ恢復イタシタイト云フコトハ希望スル所デアリマシテ、其方針ヲ以テ唯今進ミツツアルノデアリマス、唯茲ニ一ツ御注意ヲ仰ガナケレバナラヌコトハ條約關係ガ出來マシテモ、ソレガ爲ニ當然通商ナルモノハ一朝非常ニ繁榮ヲ見ルヤウニ御考ヘ下サレバ御失望ニナルダラウト思フ、或國ハ露國ト通商關係ヲ……條約關係ヲ締結シタ國モアリマスケレドモ、其爲ニ通商ガ非常ニ増大シタト云フ結果ニハナツテ居ナイノデアリマス、要スルニ通商關係ト云フモノハ露國ニ於キマスル經濟狀態ト生産ノ狀態ニ重大ナル關係ヲ有ツテ居ルモノデアリマシテ、條約其モノニハ直接ノ關係ハ有ツテ居ナイノデアリマス、併ナガラ條約ト云フモノヲ……關係ヲ樹立スルニ私等ガ重キヲ置カヌカト云フト、私等ハ重キヲ置イテ居ルコトハ昨日モ申述ベタ次第デアリマス、此交渉ノ成行キヲ然ラバ説明シロト云フ御請求デアリマシタガ、前内閣ノ時代ニ於キマシテ行ハレタル交渉ノ顛末ハ私ハマダ十分研究ヲ致ス餘日ヲ持ツテ居リマセヌ、大體ノコトハ存ジテ居リマス、併ナガラ此際、前内閣ノ時代ニ行ハレタル交渉ノ中デ如何ナル點ガ議論ニナツテ居ッタカ、之ニ對スル露西亞ノ主張ハ如何ニ、日本ノ主張ハ如何ニト云フヤウナコトヲ稍、具體的ニ申上ゲルコトハ日本ノ爲ニモ、露西亞ノ爲ニモ甚ダ得策デナイト考ヘマス、是ハモウ少シ問題ノ發展スルノヲ御待チ下サルヤウニ

御願ヒシタイノデアリマス、ソレカラ第二ニ日本ノ官吏、實業家ト云フ風ナ各種ノ露西亞問題ニ利害ヲ有ツテ居ル人等ガ團體ヲ成シテ莫斯科ヘ出掛ケテ、莫斯科デ談判ヲ始メタラドウデアラウト云フ御質問ノヤウデアリマシタ、凡ソ此交渉ヲ始メマスルノニ統一ノナイ交渉ヲ始メルト云フコトハ極メテ不利益ナ話デアリマス、何レノ場合ニ於キマシテモ、一ツノ統一セル精神ヲ以テ進ンデ行カナケレバナラヌノデアリマス、從テ此場所ハ唯今北京デ行ッテ居リマスガ、必シモ北京デ行ハナケレバナラヌト云フコトハアリマス、莫斯科デヤツテモ差支ナイデアリマセウガ、從來ハ北京デ行ヒ來ッタモノナルガ故ニ、北京ニ於テ引續キ交渉ヲ繼續シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、場所ハ必シモ北京デナケレバイカヌト云フ理窟ハ無いノデアリマス、併ナガラ各種ノ難多ナル意見ヲ代表スル者ガ、北京デモ或ハ莫斯科デモ參リマシテ交渉ヲ始メルト云フヤウナコトニナリマスレバ、是ハ由々シキ大事デアリマス、矢張り一ツノ政府ノ任命ニ係ル交渉委員ト云フ者ガ無クテハ到底圓滑ニ話ハ行ハレルモノデハナクシテ、此良好ナル結果ヲ期待スルコトハ出來ナイト思ヒマス、日本ノ委員ノ中ニ實業ノ事ヲ心得テ居ル人ヲ加ヘルコトガ、必要デアルカドウカト云フコトハ、固ヨリ別問題デアリマシテ、唯私ガ唯今申シマスノハ難多ナル意見勢力ヲ代表シテ居ル人間ガ莫斯科ヘ行ッタ所ガ、ソレデ以テ良好ナル結果ヲ得ラレナイト云フコトヲ申上ゲタイノデアリヤス

○山脇玄君 重ネテ質問ヲスル譯デアリマセヌガ、大體私ノ質問ノ趣意ヲ誤解ナスツテ御居デニナルカラ其點ヲチヨット申上ゲテ置キタイ、ソレハ第二ノ點デアリマス、私ノ録々タル實業家ト外交官トガ莫斯科ヘ乗出スト云フノハ、何モ種々難多ナ不統一ナ者ガ行クト云フコトデハナイノデアリマス、勿論、莫斯科ヘ乗出ス前ニ外交官ト實業家ト意見ヲ闘ハシテ、其意見ガ一致シタ者ガ向ウニ出掛ケルト云フ無論意味デアリマスカラ、續々難多ナ者ガ乗出シテ談判スル、ソナナ粗雑ナ考デハナイノデアリマスガ、サウ云フヤウナ意味デ尙ホ御答下サルナラバ有難シ、御答下サラヌナラバソレデモ宜シカラウ

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 私ハ山脇君ノ御意見ヲ誤解シテ居ッタ譯デヤナイノデアリマスルガ、サウ云フ結果ニナツテハイカヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスカラ、然ルベク御諒承ヲ願ヒマス

○山脇玄君 モウ一ツ……決シテ今外務大臣ヲ窘メルノデハナイノデアリマ

ス、不統一ナ者ガ行ツタ所ガ良好ナ結果ヲ得ラレナイト云フコトヲ仰セラレ
ルガ、我々共ハ一致シタイト云フ意味ヲ以テ多數ノ者ガ出掛ケル、唯外交官
ノミデハ整理ガ甚ダ疑ハシイ、ドウシテモ經濟社會ノ實地經驗ヲ有ツテ居
ル人ガ行カネバイカスト思ヒマス、事ガ圓滿ニ行カナイ、早ク決シタイト云フ
サウ云フ意味デ、多數ノ委員ガ行クト云フコトニナルデアリマス、決シテ
種々雜多ノ者ガ行クト云フ粗雜ナ考デハナイノデアリマス、此段ヲ申上ゲテ
御答ハナクテモ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シタイトゴザイマス、本日
ハ議事ノ進行上、是ヨリ議事日程ニ移リマシテ、國務大臣ノ演說ニ對スル質
疑ハ、次回ノ會議ニ於テ繼續スルコトニ致シタク存ジマス、ソレデ御異議ゴ
ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、日程第一、非
常徵發令廢止ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ本會期
ヲ通ジテ御異議ナケレバ省略イタシタイト存ジマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以上
之ニ倣フ〕

非常徵發令廢止ニ關スル法律案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十三年六月二十八日

内閣總理大臣 子爵 加藤 高明

內務大臣 若槻禮次郎

非常徵發令ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 昨年九月震災ニ基キマシテ、被害者ノ救済ヲ致

シマス爲ニハ、物件又ハ勞務ニ付テ非常徵發ヲ行フト云フ必要ガアリト認メ
ラレマシテ、當時ノ政府ハ之ヲ實行セラレタノデアリマス、當時ハ此事アツテ
應急ノ救済ガ出來タノデアリマスカラ、至極結構デアッタ存ジマスガ、是ハ
一時ノ必要デアツテ、後マデ繼續セシムル必要ハナイノデアリマスケレドモ、
事柄ノ中デ賠償價格ノ決定トカ、其他殘務ガアリマス爲ニ、徵發令ヲ直チニ
廢止スルト云フコトガ出來マセヌガ爲ニ、第四十七帝國議會ニ當ツテ、將來
ニ效力ヲ有ツヤウニ御承認ヲ受ケルコトニ相成ッタノデアリマス、ソレガ爲ニ
今日ハ矢張り、此勅令ハ存シテ居ルノデアリマスケレドモ、今日ハ殘務モ總
テノ事ガ終リマシタノデ、此非常徵發令ヲ存シテ置ク必要ガ無クナッタノデア
リマス、依ツテ法律ヲ以テ、之ガ廢止ヲ定メルコトニ致シタイトデアリマス、
就キマシテハ茲ニ御協賛ヲ仰イダ次第デアリマス、ドウゾ御審議ノ上ニ此法
案ノ通過イタシマセヌカウニ御願ヲ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ日程第二ニ移リ
マス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵八條隆正君 特別委員ノ選舉ハ特別ナ場合ヲ除イテ、本期議會ヲ通ジ
テ議長指名ニ一任イタシタイト思ヒマス、動議ヲ提出イタシマス

○子爵池田政時君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ノ八條子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サ
セマス

〔瀨古書記官朗讀〕

非常徵發令廢止ニ關スル法律案特別委員

侯爵鍋島 直映君 子爵藪 篤 磨君 子爵野村 益三君

若林 資藏君 男爵周布 兼道君 藤田 四郎君

石渡 敏一君 湯地 幸平君 土田 萬助君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ
關スル條約ノ實施ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十三年七月一日

內閣總理大臣 子爵 加藤 高明
逓信大臣 犬養 毅
海軍大臣 財部 彪
外務大臣 男爵 幣原喜重郎

第一條 左ニ掲クル行爲ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

一 軍艦ヲ建造スルコト

二 船舶ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ之ニ武裝ヲ施シ又ハ武裝ヲ施スノ準備ヲ爲スコト

主務大臣ハ大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ規定ニ依ル義務ヲ履行スル爲必要アリト認ムル場合ニ於テハ前項ノ許可ヲ爲ササルモノトス

第二條 當該官吏ハ必要アリト認ムルトキハ前條ニ掲クル事項ニ關シ調査ヲ爲ス爲造船所、工場、軍艦、船舶其ノ他必要ナル場所ニ立入り若ハ検査ヲ爲シ又ハ關係者ニ對シ調査資料ノ提供ヲ命シ若ハ供述ヲ求ムルコトヲ得

第三條 第一條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ同條同項ノ許可ノ條件ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 第二條ノ規定ニ依ル官吏ノ職務ノ執行ヲ拒ミ妨ケ若ハ忌避シ、調査資料ノ提供ヲ爲サス若ハ虚偽ノ調査資料ヲ提供シ又ハ供述ヲ拒ミ若ハ虚偽ノ供述ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣財部彪君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(財部彪君) 大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ハ御承知ノ通り、昨年八月十七日ヨリ效力ヲ生ズルコトニ相成リマシタ、此條約ノ規定ニ依リマスルト、政府ハ單ニ政府自身ノ行爲ヲ羈束セラルルノミニ止マリマヒス、其國內一般ニ於ケル一定ノ行爲ヲモ亦之ヲ禁遏スルノ義務ヲ負ハセラルルコトニ相成リマシタ、從テ此義務ヲ履行イタシマス爲ニハ、國內法ノ發布ヲ必要ト致ス次第ゴザイマス、本法律案ハ此必要ニ應ジテ立案セラレタルモノデゴザイマス、條約ニ規定シテゴザイマス所ノ制止禁止制限事項ハ多種多樣デゴザイマシテ、之ヲ列舉スルコトハ誠ニ繁雜ニ互リマスカラシテ、本案ニ於キマシテハ概括的ニ規定ヲ致シマシタカラ總テ豫メ主務官廳ノ許可ヲ得ルコトヲ要件ト致シテ居リマス、之ニ依リマシテ禁止制限ニ關スル違反モ未然ニ取締リマシテ、サウシテ條約ニ依ル國際義務ヲ誠實ニ遂行セムト致スモノデゴザイマス、以上申述ベマシタ通り本法律案ハ海軍軍備制限條約ヲ履行スル上ニ於キマシテ極メテ必要ナルモノデゴザイマスルカラ何卒速ニ御協賛ヲ賜ハラムコトヲ冀ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、八條子爵ノ動議ノ可決セラレマシタ結果、日程第四ハ削除イタスコトニ致シマス、本案特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案特別委員

伯爵副島 道正君 志 佐 勝君 男爵坂本 俊篤君
黑岡 帶刀君 男爵安藤 直雄君 鍋島 桂次郎君
室田 義文君 馬場 鏝一君 勝田 銀次郎君
○議長(公爵徳川家達君) 此議會ハ會期モ短クゴザイマスカラ、唯今議長ヨリ指名イタシマシタ特別委員諸君ハ、成ルベク速ニ審査ニ著手セラレムコトヲ望ミマス、次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後零時二十二分散會

